

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第5号

部内資料

2007年3月23日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm>

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210(内線433)



2007年2月10日 横三労連定例宣伝

原子力空母反対65%!

成功させる会は3月19日、市役所で記者会見し、1055人から回答を得たアンケートの結果を発表しました。アンケートによれば、原子力空母配備について「反対」「どちらかといえば反対」が合わせて65%、住民投票の実施について、「必要」が74%にのぼりました。このアンケートは、NPO法人に委託したものです。

一方2月14日、3人の地元漁業者が、浚渫工事の中止を国と市に対して求め、横須賀簡裁に民事調停を申し立てました。環境汚染によって漁業権を侵害される恐れを訴えています。浚渫は早ければ4月中にも着工の見通しで、時期が迫っているため、調停は困難とみられます。漁民たちは調停が成立しなければ、市を相手どって行政訴訟を起こす方針です。成功させる会では、3人の漁業者への支援を訴えています。

3月9日に、07春闘学習会を開催!

3月9日(金)、県合同庁舎内クラブハウスで横三労連・横須賀学習協共催の春闘学習会を開催しました。講師は昨年引き続き労働者教育協会常任理事の佐々木昭三さん。テーマは「労働法制改悪は何をもたらすか」。はじめに春闘をめぐる情勢について説明。9条の会がかつてない規模で全国にひろまり改悪に反対する世論が高まっていること、今年は賃上げの春闘であること、その一方で格差と貧困のひろがり深刻となりその理由は非正規労働者が急増していること、政府のすすめる「構造改革」の背景にはアメリカと巨大企業の利益最優先があること。そして労働政策審議会が柳沢厚生労働相に答申した労働条件と労働契約に関する報告について解説。「ホワイトカラーエグゼンプション」は労基法適用除外を意味しており、年収400万円以上の「管理職一步手前」の労働者を対象に1日8時間週

間の規制をはずし、残業代なしでいくらかでも働かせるものであり、「マスコミからも『サービス残業法』『過労死促進法』と批判されている」と話しました。最後に「この労働法制改悪法案は今回の通常国会の提出は見送られたが、別の国会で出そうとしている」「私たちの運動とたたかいで撤回させよう」と訴えました。

H幹事記

県知事選開始! 各地で労働者の会が大奮闘!

先日開催された公開討論会で、かもい候補は、大企業に巨額の税金をつぎ込む「インベスト神奈川」「憲法改悪」「原子力空母の配備」にきっぱりと反対を表明、他の2氏との違いを鮮明にしました。

また、18日には労働者の会が奮闘し、横須賀をはじめ、川崎、藤沢、相模原、鶴見区、港南区で大宣伝を展開しました。横須賀では、2台の宣伝カーやハンドマイクで市内をかけまわり、かもい支持を訴えました。